

沖縄科学技術大学院大学(OIST) 施設見学

日時 令和5年1月26日(木)

参加所員 佐藤 満、平田 大輔、李 宇諤、柏木 悠、相澤 勝治

これまで研修会では、各教育機関・活動拠点などの視察や現地担当者との合同研修会などを通して研鑽を積み、学生指導やスポーツの価値について再考し、学内外への発信に努めてきた。今回は、国内でも先駆的な大学院大学である沖縄科学技術大学院大学(OIST)を訪問し、研究施設及び研究環境について視察を行い、今後のスポーツ研究所における研究活動をより推進するための情報収集及び資料を得ることを目的とした。

沖縄科学技術大学院大学(OIST)の概要

沖縄科学技術大学院大学(OIST)は、日本政府によって主導され創設された5年一貫制博士課程を置く学際的な大学院大学であり、世界中より研究者、学生を集めている研究機関である(教員89名、職員997名、学生数226名。ネイチャーインデックスは国内1位、世界9位)。政府の補助金は約200億円以上であり、研究助成金、受託研究、寄付金等による外部資金を獲得している。世界の科学技術に貢献するとともに、国内外の優れた研究者を招聘して質の高い研究を行い、世界最高水準の研究拠点を形成し、沖縄の技術移転と産業革新を牽引する知的クラスターの形成を図ることを目的としている。2022年には、OISTのペーボ教授が、「絶滅したヒト科のゲノムと人類の進化に関する発見」により大きな貢献をしたとして、2022年のノーベル生理学・医学賞を受賞しており、国際的な学術研究をリードしている。

OISTは、ビジョンとして人類のための知の

前進を挙げている。重視する価値としては、卓越性・他者の尊重・責任感・透明性・持続可能性・多様性・勇気・自由、これらがOISTの全ての行動の基盤となると示している。さらに、ミッションとして、先駆的な大学院大学として、科学的知見の最先端を切り拓く研究を行い、次世代の科学研究をリードする研究者を育て、沖縄におけるイノベーションを促進する拠点としての役割を果たすことを目指している(引用: <https://www.oist.jp/ja>)。

沖縄科学技術大学院大学(OIST)の施設

OISTのキャンパスは、4ヶ所に施設を置いており、今回はメインキャンパスを視察した(図1,図2)。OISTでは構内の居住エリアに質の高い宿舎を設けており、研究と生活拠点が同じキャンパス内にあるのが特徴的であった。生活関連施設には、ショッピング施設、レクリエーションサービス、リソースセンター、ビレッジオフィス、フィットネスジムなど、健康や福祉を増進するための機能や職員や学生がコミュニケーションを図るための施設が整備されていた(図3)。

研究施設としては、第1研究棟、第2研究棟、第3研究棟、第4研究棟、第5研究棟、OIST マリン・サイエンス・ステーション、様々な研究施設を備えていた。今回は、施設見学可能なキャンパス内であるセンターコート、OISTギャラリー、スカイウォークを中心に視察した。

キャンパス内ではOISTが現在取り組んで

いるプロジェクトの一部を紹介するパネルが展示されており、研究活動を一般に広めるための取り組みが行われていた(図4)。研究分野は多岐にわたり、各分研究室の活動をj紹介するパネルが展示されており、各研究室の研究内容や業績が掲示されていた(図5)。センターコートは各研究棟へアクセスするためのエリアであり、カフェ・レストランもあり、一般にも開放されていた(図6)。センター棟と各研究棟をつなぐスカイウォークは、通常は長い橋を支えるための支柱が必要であるが、特別な技術を用いて支柱を不要とし、環境や景観にも配慮したキャンパス設計をしていた(図7)。

まとめ

今回、沖縄科学技術大学院大学(OIST)の施設視察では、大学院大学として科学技術研究の最先端の研究施設及び環境を見ることが出来た。またキャンパス内では国外の教員や学生が研究についてディスカッションしている風景がみられ、醸成した研究環境の風土を現地で感じることが出来た。スポーツ研究所では、自治体や地域スポーツとの取り組み、さらには各所員の研究活動が行われており、今回の視察を通して、分野の垣根を超えた連携や共同研究をさらに促進することがスポーツ研究所に役立つと考えられる。最後に、センターコートには、OISTの前身の理事長を務めた故シドニー・ブレナー博士の功績を讃えて顕彰堂があった。その石碑には、「Vision」、「Challenges」、「Innovation」の言葉が刻まれており、その具現化されたビジョンに触れる機会であった。

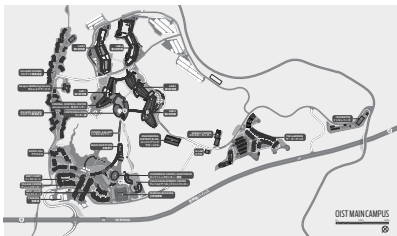


図1 キャンパスマップ



図2 キャンパス入口



図3 居住エリア



図4 OISTギャラリー



図5 研究室の紹介



図6 センターコート



図7 スカイウォーク